

3 設問別正答率一覧

令和元年度 学力定着状況確認問題 出題の趣旨一覧表

小学校第4学年 国語

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（％）
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	3	49.4
	書くこと	4	57.3
	読むこと	3	54.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	10	64.2
評価の観点	話す・聞く能力	3	49.4
	書く能力	4	57.3
	読む能力	3	54.2
	言語についての知識・理解・技能	10	64.2
問題形式	選択式	9	68.8
	短答式	8	59.9
	記述式	3	27.8

設問番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			県全体正答率（％）	
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式		
1	一	(1)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことができる				○				○			65.4
1	一	(2)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことができる				○				○			72.4
1	一	(3)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことができる				○				○			58.6
1	一	(4)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことができる				○				○			45.4
1	二	(5)	文の中における主語、述語を捉えることができる				○			○	○			61.6
1	三	(6)	ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることができる				○			○	○			83.1
2	一	(7)	目的に応じて資料を選択することができる		○					○				85.0
2	二	(8)	表を用いた目的を捉えることができる		○					○				44.6
2	三	(9)	伝聞の文末表現を理解している				○			○	○			71.2
2	四	(10)	目的や意図に応じた書き方を捉えることができる		○					○				81.5
2	五	(11)	文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことができる				○			○				19.4
2	六	(12)	目的や意図に応じて、自分の考えをまとめて書くことができる		○					○			○	18.0
3	一	(13)	漢字の部首名を理解している				○			○			○	72.5
3	一	(14)	漢字の総画を理解している				○			○			○	92.3
3	二	(15)	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、要約しながら読むことができる				○			○				55.7
3	三	(16)	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、要約しながら読むことができる				○			○			○	23.9
3	四	(17)	目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むことができる				○			○				83.1
4	一	(18)	司会の役割を理解している		○					○				53.8
4	二	(19)	話し合いにふさわしい言葉づかいを理解している		○					○				52.9
4	三	(20)	立場を明確にし、相手に伝わりやすい話し方を工夫することができる		○					○			○	41.4

小学校第4学年 算数

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
学習指導要領の領域	数と計算	7	72.8
	量と測定	4	51.2
	図形	3	52.5
	数量関係	6	47.4
評価の観点	数学的な考え方	5	38.6
	数量や図形についての技能	9	73.8
	数量や図形についての知識・理解	6	49.7
問題形式	選択式	3	66.8
	短答式	14	57.9
	記述式	3	48.1

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点		問題形式			県全体正答率(%)	
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式		記述式
1 (1) (1)	繰り下がりのある3位数と3位数の減法の計算をすることができる	○				○			○			83.0
1 (2) (2)	3位数と2位数の整数の乗法の計算をすることができる	○				○			○			69.9
1 (3) (3)	3位数と2位数の除法の計算をすることができる	○				○			○			79.2
1 (4) (4)	整数と小数の加法の計算をすることができる	○				○			○			83.3
1 (5) (5)	同分母分数の減法の計算をすることができる	○				○			○			91.2
2 (6)	最小目盛の量に着目して、重さを測定することができる		○			○			○			62.2
3 (1) (7)	単位分数をもとに、数直線上に1をあらわすことができる	○						○	○			69.9
3 (2) (8)	仮分数の大きさを単位分数のいくつ分であらわすことができる	○						○	○			32.9
4 (1) (9)	折れ線グラフの傾きに着目し、変わり方が大きい時間帯を見いだすことができる				○			○	○			48.5
4 (2) (10)	2つの折れ線グラフを比較して分かることを選ぶことができる				○			○	○			69.5
5 (1) (11)	乗法の場面を、□を使った式に表すことができる				○			○	○			41.2
5 (2) (12)	□を使った式を活用して、リボンを買うことができない理由を記述することができる				○	○				○		56.6
6 (13)	整数と小数の関係に着目し、テープの長さを小数で表すことができる		○					○	○			63.9
7 (14)	直線の長さが半径のいくつ分かに着目し、円の半径の長さを求めることができる			○		○			○			35.3
8 (15)	示された1/4円から、円の中心を求めることができる			○				○	○			60.9
9 (1) (16)	比較量が基準量の何倍かを求める除法の式を書くことができる				○			○	○			41.9
9 (2) (17)	表を読み取り、ドッジボールが一番人気とはいえない理由を説明することができる				○	○				○		26.6
10 (18)	時刻表の情報を基に、出発時刻を求めることができる		○			○			○			13.2
11 (19)	180°よりも大きい角の大きさを求めることができる		○					○	○			65.3
12 (20)	三角形の2つの辺の長さが円の半径であることを基に、二等辺三角形ができる理由を記述することができる			○		○				○		61.2

小学校第5学年 国語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（％）
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	3	48.0
	書くこと	3	62.4
	読むこと	3	55.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	11	59.0
評価の観点	話す・聞く能力	3	48.0
	書く能力	3	62.4
	読む能力	3	55.6
	言語についての知識・理解・技能	11	59.0
問題形式	選択式	12	59.2
	短答式	5	67.4
	記述式	3	33.3

設問番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率（％）	
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式		記述式
1	一	(1)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことができる				○				○		81.0
1	一	(2)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことができる				○				○		43.0
1	一	(3)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことができる				○				○		92.2
1	一	(4)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことができる				○				○		94.5
1	二	(5)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる				○			○			74.8
1	三	(6)	文の中における主語、述語を捉えることができる				○			○			66.4
1	四	(7)	敬語の正しい使い方を理解している				○			○			45.7
1	五	(8)	漢字の成り立ちについて理解している				○			○			33.1
1	六	(9)	国語辞典の正しい使い方を理解している				○			○			37.7
1	七	(10)	主語と述語の関係に気をつけて、一文を二文に分けることができる				○				○		26.1
2	一	(11)	図表やグラフから読み取れる情報を選択することができる	○						○			64.7
2	二	(12)	図表やグラフなどを用いた目的を捉えることができる	○						○			74.1
2	三	(13)	目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことができる	○						○			48.5
3	一	(14)	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことができる			○					○		27.9
3	二	(15)	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことができる			○					○		63.3
3	三	(16)	目的に応じて、本や文章全体を概観して読むことができる			○					○		75.7
4	一	(17)	質問の意図を捉えることができる	○						○			64.8
4	二	(18)	目的に応じて、質問を工夫することができる	○						○			55.6
4	三	(19)	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることができる	○							○		23.6
4	四	(20)	言葉の意味を理解して、自分の表現に用いることができる				○			○			54.9

小学校第5学年 算数

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
学習指導要領の領域	数と計算	9	56.9
	量と測定	5	57.7
	図形	2	45.7
	数量関係	4	52.4
評価の観点	数学的な考え方	4	43.0
	数量や図形についての技能	10	61.1
	数量や図形についての知識・理解	6	53.2
問題形式	選択式	6	49.8
	短答式	11	62.1
	記述式	3	40.0

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点		問題形式			県全体正答率(%)
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	
1 (1) (1)	数を四捨五入して、概数で表すことができる	○				○		○			73.3
1 (2) (2)	数量を口や△などを用いて表し、その関係を式にすることができる				○	○		○			57.2
1 (3) (3)	1/100にした数を、小数点の位置に着目して求めることができる	○				○			○		70.1
2 (1) (4)	小数どうしの加法の計算をすることができる	○				○			○		72.6
2 (2) (5)	小数どうしの乗法の計算をすることができる	○				○			○		61.1
2 (3) (6)	除数が小数である場合の除法の計算を一の位まで行い、商と余りを求めることができる	○				○			○		50.4
2 (4) (7)	加法と乗法の混合した整数の計算をすることができる	○				○			○		74.4
3 (1) (8)	除法の性質を用いて示された式の意味を理解している	○					○	○			29.6
3 (2) (9)	同種の2つの数量の関係を図に表して基準量に対する比較量の割合を捉えることができる	○					○	○			44.7
4 (10)	体積の違いを筋道を立てて説明することができる		○			○				○	41.4
5 (11)	分度器を用いて角の大きさを測定することができる		○			○			○		69.2
6 (12)	基準量と割合を基にして比較量を求めることができる	○					○		○		36.3
7 (1) (13)	三角定規を構成する角度を使って、いろいろな角の大きさを作ることができる		○				○		○		78.3
7 (2) (14)	一直線が180度であることを使って角の大きさを求める方法を、筋道を立てて説明することができる			○		○				○	30.9
8 (15)	面のつながりや位置関係に着目して、立方体の向かい合う面の位置関係を考えることができる			○			○	○			60.5
9 (16)	示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式して数値を求めることができる				○		○		○		70.0
10 (17)	2つの折れ線グラフを比較し、正しい情報を読み取ることができる				○	○		○			33.3
11 (18)	二次元表の中の数が表す事柄を読み取ることができる				○	○			○		49.1
12 (1) (19)	連続する3つの数値の和が、中央の値の3倍になると求められることを理解している	○				○			○		51.9
12 (2) (20)	連続する5つの数値の和が、中央の値の5倍になると求められることを説明することができる	○				○				○	47.6

小学校第5学年 社会

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の領域	身近な地域や市の地形、土地利用、公共施設などの様子	3	70.3
	地域の生産や販売に携わっている人々の働き	1	97.1
	地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動	3	55.8
	地域の人々の安全を守るための諸活動	0	
	地域の古い道具、文化財や年中行事、地域の発展に尽くした先人の具体的事例	4	60.2
	県の地形や産業、県内の特色ある地域	2	64.7
	我が国の国土の様子と国民生活との関連	5	40.2
評価の観点	我が国の農業や水産業（食料生産）の様子と国民生活との関連	2	49.3
	社会的な思考・判断・表現	5	47.1
	資料活用に関する技能	6	68.1
問題形式	社会的な事象についての知識・理解	9	55.6
	選択式	12	67.3
	短答式	4	38.7
	記述式	4	45.7

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域							評価の観点	問題形式			県全体正答率 (%)	
		身近な地域や市の地形、土地利用、公共施設などの様子	地域の生産や販売に携わっている人々の働き	地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動	地域の古い道具、文化財や年中行事、地域の発展に尽くした先人の具体的事例	県の地形や産業、県内の特色ある地域	我が国の国土の様子と国民生活との関連	我が国の農業や水産業（食料生産）の様子と国民生活との関連	社会的な思考・判断・表現	資料活用に関する技能	社会的な事象についての知識・理解	選択式		短答式
1 (1)	(1) 地図記号が表している施設を理解している	○							○		○			81.9
1 (2)	(2) 町の地図から正しい内容を読み取ることができる	○							○		○			60.5
1 (3)	(3) 地図の情報から正しい位置を読み取ることができる	○							○		○			68.4
2 (2)	(4) スーパーマーケットの工夫について理解している	○							○		○			97.1
3 (1)	(5) 昔の人々の使っていた道具を理解している				○					○	○			98.5
3 (2)	(6) 道具の移り変わり、生活が便利になったことを説明することができる				○				○				○	70.1
4 (1)	(7) グラフから山口県ではリサイクルが盛んにおこなわれていることを読み取ることができる			○						○	○			85.2
4 (2)	(8) 3Rの意味と、具体的な取組を理解している			○						○	○			44.4
4 (3)	(9) リサイクルの推進は、貴重な資源の節約につながっていることを説明することができる			○					○				○	37.7
5 (1)	(10) 等高線の名称を理解している				○					○		○		6.9
5 (2)	(11) 等高線から、土地の高低や傾きを読み取ることができる				○					○	○			65.3
6 (1)	(12) 人口や産業の統計資料から、必要な情報を選び出すことができる							○			○			62.3
6 (2)	(13) 水産物がトラックによって県内各地へ輸送されることから、各地が道路でつながっていることを推測できる							○			○			67.1
7 (1)	(14) 日本と関わりのある国の名称や位置、国旗を理解している							○			○			36.6
7 (2)	(15) 地図や資料をもとにして、大陸名を答えることができる							○			○			43.6
8 (1)	(16) 日本の領土の範囲を理解している							○			○			69.2
8 (2)	(17) 日本の北方領土について理解している							○			○			22.5
8 (3)	(18) 気温の特徴をもとに地域を判断し、南西諸島の気候の特徴について説明することができる							○	○				○	29.3
9 (1)	(19) 資料を読み取り、誤っている事柄を選ぶことができる							○	○		○			52.9
9 (2)	(20) 米作りをする農家の工夫について資料をもとに説明することができる							○	○				○	45.7

小学校第5学年 理科

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
学習指導要領の領域	物質	6	65.7
	エネルギー	7	49.3
	生命	4	55.7
	地球	3	40.2
評価の観点	科学的な思考・表現	7	50.4
	観察・実験の技能	2	61.5
	自然事象についての知識・理解	11	55.2
問題形式	選択式	13	54.5
	短答式	4	53.5
	記述式	3	53.6

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点		問題形式			県全体正答率(%)	
		物質	エネルギー	生命	地球	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式		記述式
1 (1) (1)	飛行機が飛ぶ距離について、一つの実験方法とは別の方法を考えることができる	○				○			○			19.6
1 (2) (2)	ゴムは、ひっぱると元にもどろうとする力が働くことを理解している	○							○	○		41.6
2 (1) (3)	物の重さについて、物の形や物自体の増減とを関係付けて理解している	○							○	○		85.2
2 (2) (4)	引き合ったり退け合ったりする様子から、物の中に入っている磁石の性質を理解している	○							○			65.2
3 (1) (5)	日当たりについて、太陽の見た目の位置や影の向きとを関係付けて考えることができる				○	○			○			57.6
3 (2) (6)	物の重さの変化について、自然蒸発と関係付けて考えることができる	○				○				○		48.7
4 (1) (7)	太陽や月の見た目の位置の変化について、正しく理解している				○				○	○		44.4
4 (2) (8)	星や星座の見た目の位置の変化について、推察することができる				○				○	○		18.7
5 (1) (9)	モーターの回り方について、かん電池の向きと電流の向きとを関係付けて説明することができる	○				○					○	73.2
5 (2) (10)	直列つなぎと並列つなぎについて、モーターが回る速さや電流の大きさを関係付けて理解している	○							○	○		55.2
5 (2) (11)	直列つなぎと並列つなぎについて、モーターが回る速さや電流の大きさを関係付けて理解している	○							○	○		60.1
5 (3) (12)	回路について、スイッチのつなぎ方により働きに変化が生じることを理解し、説明することができる	○				○					○	30.1
6 (1) (13)	温度によって変わる水の姿を理解している	○							○	○		79.2
6 (2) (14)	水の体積変化について、温度変化や体積変化と関係付けて理解し、説明することができる	○							○		○	57.4
6 (3) (15)	空気の状態変化について、温度変化と関係付けて理解している	○				○			○			64.7
6 (3) (16)	空気の状態変化について、温度変化と関係付けて理解している	○				○			○			59.1
7 (1) (17)	発芽に必要な条件について、条件を制御した実験結果をもとに見出すことができる			○					○	○		39.6
7 (2) (18)	発芽に必要な条件について、結果をもとに、適切な実験方法を判断することができる			○			○		○			53.5
8 (1) (19)	メダカの飼育に関する基礎的な知識がある			○					○	○		60.3
8 (2) (20)	メダカの飼育について適切な条件を理解している			○			○		○			69.4

小学校第6学年 国語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	3	62.0
	書くこと	5	74.0
	読むこと	3	65.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	9	76.3
評価の観点	話す・聞く能力	3	62.0
	書く能力	5	74.0
	読む能力	3	65.0
	言語についての知識・理解・技能	9	76.3
問題形式	選択式	12	75.8
	短答式	5	75.9
	記述式	3	49.7

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			県全体正答率(%)	
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式		
1	一	(1)												87.9
1	二	(2)												78.0
1	三	(3)												58.7
2	一	(4)		○										90.5
2	一	(5)		○										76.0
2	一	(6)		○										78.7
2	二	(7)		○										73.6
2	三	(8)		○									○	51.4
2	四	(9)					○						○	96.1
2	四	(10)					○						○	91.0
2	四	(11)					○						○	82.7
2	四	(12)					○						○	49.2
2	四	(13)					○						○	60.6
3	一	(14)					○						○	70.4
3	一	(15)					○						○	48.1
3	二	(16)					○						○	76.4
4	一	(17)		○									○	78.4
4	二	(18)		○									○	58.1
4	三	(19)		○									○	49.5
4	四	(20)					○						○	82.6

小学校第6学年 算数

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
学習指導要領の領域	数と計算	7	64.6
	量と測定	1	27.6
	図形	4	39.9
	数量関係	8	48.9
評価の観点	数学的な考え方	7	51.7
	数量や図形についての技能	7	59.2
	数量や図形についての知識・理解	6	42.4
問題形式	選択式	6	59.8
	短答式	10	47.4
	記述式	4	49.4

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点		問題形式			県全体正答率(%)	
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式		記述式
1 (1) (1)	異分母の分数の加法の計算をすることができる	○				○			○			71.2
1 (2) (2)	分数の乗法及び除法の計算をすることができる	○				○			○			81.3
2 (1) (3)	計算のきまりを使って、工夫して計算することができる	○				○					○	73.1
2 (2) (4)	小数の除法の計算のきまりを理解している	○					○	○	○			79.7
2 (3) (5)	数を四捨五入して、概数で表すことができる	○				○		○	○			60.2
2 (4) (6)	1個分ジュースの量の見当をつけるために平均の考えを活用し、ジュースの体積を求めることができる		○			○			○			27.6
3 (7)	単位量当たりの大きさを求める除法の式を読み、商の表す意味を考えることができる				○	○			○			69.3
4 (8)	辺や面のつながりや位置関係に着目して、立方体の展開図をかく方法を考えることができる			○		○			○			54.6
5 (1) (9)	1に当たる大きさを求める問題場面における数量関係を理解し、数直線に表すことができる	○						○	○			51.5
5 (2) (10)	1に当たる大きさを求める問題場面では、除法を用いることを理解している	○						○	○			35.1
6 (11)	円に内接する正方形の対角線が、円の直径と等しくなる性質に着目して求積することができる			○		○			○			23.4
7 (12)	問題場面を把握し、解決に必要な情報を抽出することができる				○	○			○			43.6
8 (1) (13)	数量の変化に着目して、●の数の変化を表にまとめることができる				○	○			○			84.6
8 (2) (14)	xやyを用いて、数量の関係を式に表すことができる				○	○			○			64.1
8 (3) (15)	他者の説明から●の数え方の着眼点を見抜き、条件が変わった場合にも同じ着眼点から説明することができる				○	○				○		52.0
9 (1) (16)	部分の割合に着目して、複数のグラフを見比べながら比較し、あてはまるものを選ぶとともに、その理由を説明することができる				○	○				○		54.9
9 (2) (17)	比較量とその割合から、基準量を求めることができる				○	○			○			16.1
10 (1) (18)	三角形の2つの辺の長さが円の半径であることを基に、二等辺三角形ができる理由を記述することができる			○				○		○		17.4
10 (2) (19)	2つの円の半径が等しいことから、正三角形ができることを理解している			○				○	○			64.3
11 (20)	必要な数値を抽出して、値段の差がA店の値段の10%にあたることを式で表すことができる				○			○	○			6.4

中学校第1学年 国語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	0	
	書くこと	3	26.5
	読むこと	12	63.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	10	69.5
評価の観点	話す・聞く能力	0	
	書く能力	3	26.5
	読む能力	12	63.3
	言語についての知識・理解・技能	10	69.5
問題形式	選択式	8	69.1
	短答式	14	64.4
	記述式	3	26.5

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)	
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式		記述式
1	一	(1)	文脈に即して、適切な語句を選択する(きらきら)			○			○			96.4
1	二	(2)	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する			○				○		82.6
1	三	(3)	登場人物の心情を捉えて、適切なものを選択する			○			○			66.4
1	四	(4)	場面の展開に応じて、適切に書く			○				○		48.5
1	五	(1)	(5) 表現の技法を理解する			○			○			77.6
1	五	(2)	(6) 内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す			○				○		25.7
1	五	(3)	(7) 場面の展開に応じて、情報を整理し自分の考えをわかりやすく伝える	○							○	44.7
2	一	(1)	(8) 内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す			○				○		93.6
2	一	(2)	(9) 内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す			○				○		67.2
2	一	(3)	(10) 目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈する			○			○			80.5
2	二	(11)	伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く		○						○	14.6
2	三	(1)	(12) 内容を的確に捉え、必要な内容を書き加える			○				○		39.1
2	三	(2)	(13) 内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す			○				○		48.4
2	四	(3)	(14) 内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す			○				○		59.5
3	一	A	(15) 文脈に即して、正しく漢字を書く(借りたい)			○			○	○		61.4
3	一	B	(16) 文脈に即して、正しく漢字を読む(あやまり)			○			○	○		83.6
3	二	ア	(17) 慣用句の意味を理解する(「猫の手も借りたい」)			○			○	○		86.8
3	二	イ	(18) 慣用句の意味を理解する(「水に流す」)			○			○	○		66.4
3	三	(19)	内容を的確に捉えて、適切なものを選択する			○			○	○		51.2
3	四	あ	(20) ことわざの意味を理解する(「猿も木から落ちる」)			○			○	○		76.8
3	四	い	(21) ことわざの意味を理解する(「一石二鳥」)			○			○	○		45.3
3	五	a	(22) ことわざの意味を理解する			○			○	○		74.7
3	六	(23)	語句の意味を理解して、適切に使うことができる			○			○	○		61.7
3	七	(1)	(24) 場面に応じて、伝える内容を検討する		○						○	20.2
3	七	(2)	(25) 時と場に応じて、適切な敬語を使う(おっしゃる)			○			○	○		60.8

中学校第1学年 数学

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
学習指導要領の領域	数と式	17	57.3
	図形	3	57.3
	関数	2	56.0
	資料の活用	3	80.4
評価の観点	数学的な見方や考え方	4	43.8
	数学的な技能	16	63.9
	数量や図形などについての知識・理解	5	60.5
問題形式	選択式	5	63.7
	短答式	17	62.7
	記述式	3	38.7

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
		数と式	図形	関数	資料の活用	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	
1 (1)	(1) 分数の乗法の計算ができる	○				○			○			89.2
1 (2)	(2) 計算のきまりにしたがって計算することができる	○				○			○			60.5
1 (3)	(3) 指数を含む正の数と負の数の計算をすることができる	○				○			○			51.7
1 (4)	(4) 絶対値の意味を理解している	○					○		○			48.7
1 (5)	(5) 正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解している	○					○	○				39.9
1 (6)	(6) 数の集合と四則計算の可能性について理解している	○					○	○				65.6
2 (1)	(7) 整式の減法の計算ができる	○				○			○			49.5
2 (2)	(8) 限られた範囲の倍数を求めることができる	○				○			○			71.1
2 (3)	(9) 速さ、時間、道のりの関係から、時間を求めることができる	○				○			○			76.2
3 (1)	(10) 数量の関係を等式で表すことができる	○				○			○			86.0
3 (2)	(11) 基準量を基に比較量を求めることができる	○				○			○			14.2
3 (3)	(12) 不等式の間隔を、具体的な事象に関連付けて解釈することができる	○				○		○				64.7
4 (1)	(13) 比例の意味を理解している			○			○	○				58.7
4 (2)	(14) 比例関係を用いて、具体量を求めることができる			○		○			○			53.3
5 (1)	(15) 展開図から重なる点を読み取ることができる		○			○			○			80.2
5 (2)	(16) 円グラフを読み取り、数量を求めることができる				○	○			○			55.7
6 (1)	(17) 表から柱状グラフに表すことができる				○	○			○			96.2
6 (2)	(18) 表から読み取った事柄を的確に評価することができる				○		○	○				89.4
7	(19) 2つの図形の面積が等しくなることを式を使って説明することができる		○			○				○		36.9
8	(20) 平行四辺形の面積を求めることができる		○			○			○			54.9
9 (1)	(21) 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	○				○			○			77.1
9 (2)	(22) 最小公倍数に着目して、求める方法を説明することができる	○				○				○		46.9
10 (1)	(23) 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	○				○			○			41.9
10 (2)	(24) 事象と式の対応を的確に捉え、文字式の成り立ちを説明することができる	○				○				○		32.2
10 (3)	(25) 事柄について、文字式を用いて表すことができる	○				○			○			59.3

中学校第2学年 国語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	0	—
	書くこと	3	21.4
	読むこと	8	53.4
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	14	58.5
評価の観点	話す・聞く能力	0	—
	書く能力	3	21.4
	読む能力	8	53.4
	言語についての知識・理解・技能	14	58.5
問題形式	選択式	6	60.6
	短答式	16	53.5
	記述式	3	31.0

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)	
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式		記述式
1	—	(1)					○			○			68.8
	—	(2)					○			○			56.8
	二	(3)			○				○	○			37.0
	二	(4)			○				○	○			44.7
	三	(5)			○				○	○			65.9
	四	(6)			○				○	○			—
	五	(7)			○				○		○		10.2
	六	(8)			○				○			○	40.6
2	—	②	(9)				○			○	○		78.8
	—	③	(10)				○			○	○		73.5
	二	(11)					○			○			51.8
	三	(12)					○			○			76.4
	四	(13)					○					○	39.1
	五	あ	(14)				○			○			64.6
	五	い	(15)				○			○			40.0
	五	う	(16)				○			○			29.6
3	—	(17)					○			○	○		84.7
	—	(18)					○			○	○		53.6
	—	(19)					○			○	○		75.8
	二	あ	(20)				○			○	○		46.8
	二	い	(21)				○			○	○		50.5
	三	(22)					○			○	○		40.7
	四	(23)					○			○	○		62.6
	五	(24)					○			○	○		46.4
	六	(25)					○			○		○	13.4

中学校第2学年 数学

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
学習指導要領の領域	数と式	11	66.2
	図形	7	47.0
	関数	4	45.4
	資料の活用	3	45.5
評価の観点	数学的な見方や考え方	5	27.5
	数学的な技能	14	59.9
	数量や図形などについての知識・理解	6	66.5
問題形式	選択式	8	65.9
	短答式	13	57.9
	記述式	4	24.0

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
		数と式	図形	関数	資料の活用	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	
1 (1)	(1) 分数の減法の計算ができる	○				○			○			85.8
1 (2)	(2) 計算のきまりにしたがって計算することができる	○				○			○			81.3
1 (3)	(3) 正の数と負の数の乗法について計算することができる	○				○			○			68.7
1 (4)	(4) 正の数と負の数の乗法について理解している	○						○	○			57.6
2 (1)	(5) 多項式どうしの減法の計算ができる	○				○			○			74.8
2 (2)	(6) 等式を目的に応じて変形することができる	○				○			○			49.4
2 (3)	(7) 連立方程式を解くことができる	○				○			○			77.2
2 (4)	(8) 2桁の自然数を文字式で表すことができる	○				○			○			71.9
2 (5)	(9) 与えられた等式を、具体的な事象に関連付けることができる	○				○		○	○			77.9
3 (1)	(10) 反比例の表の特徴を理解している			○				○	○			67.6
3 (2)	(11) 比例のグラフの特徴を理解している			○				○	○			84.0
4	(12) 垂直二等分線の性質を理解している		○					○	○			66.3
5 (1)	(13) 円柱について、底面の円周の長さや展開図の側面の辺の長さが等しいことを用いて求めたい長さを求めることができる	○				○			○			42.3
5 (2)	(14) 示された投影図を読み取り、適切な空間図形を選択することができる	○						○	○			63.4
5 (3)	(15) 回転移動した角の大きさを正しく求めることができる	○				○			○			43.4
6	(16) 立方体の面上の直線と直線の位置関係について説明することができる		○			○				○		22.2
7 (1)	(17) 反比例の関係を利用して、必要な数量を求めることができる			○		○			○			18.6
7 (2)	(18) 反比例の関係を式に表すことができる			○		○			○			11.4
8 (1)	(19) 文字を用いて周の長さを表すことができる	○				○			○			67.5
8 (2)	(20) 長方形の面積の大きさの違いを求める方法を説明することができる		○			○				○		23.9
9 (1)	(21) 度数分布表を理解している				○			○	○			60.2
9 (2)	(22) 判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる				○	○				○		34.9
9 (3)	(23) 目的に応じて、ヒストグラムをつくり変えることができる				○	○			○			41.4
10 (1)	(24) 与えられた等式についてどの数量関係に着目しているかを選択することができる	○				○			○			68.7
10 (2)	(25) 方程式をつくるときに表現しきれなかった条件に気づき、具体的な場面に即して再検討することができる	○				○				○		15.0

中学校第2学年 社会（地理的分野）

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の領域	世界の地域構成	2	70.6
	世界各地の人々の生活と環境	2	74.9
	世界の諸地域	5	33.5
	世界のさまざまな地域の調査	0	
	日本の地域構成	2	64.6
	世界と比べた日本の地域的特色	2	37.6
評価の観点	社会的な思考・判断・表現	5	37.3
	資料活用の技能	2	74.4
	社会的事象についての知識・理解	6	54.6
問題形式	選択式	6	61.9
	短答式	2	52.3
	記述式	5	37.3

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域						問題形式			県全体正答率（%）		
		世界の地域構成	世界各地の人々の生活と環境	世界の諸地域	世界のさまざまな地域の調査	日本の地域構成	世界と比べた日本の地域的特色	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解		選択式	短答式
1 (1) (1)	主な海洋の位置を理解している	○								○	○		71.4
1 (2) (2)	地図の特性を理解し、東京からの距離を調べることができる	○							○		○		69.7
2 (1) (3)	宗教と日常生活との関わりを理解している		○							○		○	70.6
2 (2) (4)	人々の暮らしと気温図を関連付けて選択することができる		○						○		○		79.1
3 (1) (5)	日本の範囲について理解している					○				○	○		69.5
3 (2) (6)	排他的経済水域の必要性について説明することができる					○			○			○	59.6
4 (1) (7)	モノカルチャー経済の課題について説明することができる			○					○			○	26.2
4 (2) (8)	アフリカ州の歴史的背景について説明することができる			○					○			○	36.4
4 (3) (9)	アフリカ州の特徴的な国や産業について理解している			○						○		○	34.0
5 (1) (10)	アジア州の主な国の特徴について理解している			○						○	○		40.0
5 (2) (11)	インドの特徴について、複数の資料を関連付けて説明することができる			○					○			○	30.9
6 (1) (12)	世界の主な河川の特徴について理解している							○		○	○		41.8
6 (2) (13)	日本の河川の特徴について説明することができる							○	○			○	33.4

中学校第2学年 社会（歴史的分野）

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
学習指導要領の領域	歴史のとらえ方	3	42.5
	古代までの日本	2	35.9
	中世の日本	7	37.4
	近世の日本	0	
評価の観点	社会的な思考・判断・表現	2	38.8
	資料活用の技能	1	74.5
	社会的事象についての知識・理解	9	34.3
問題形式	選択式	6	47.9
	短答式	5	22.1
	記述式	1	63.0

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率（%）
		歴史のとらえ方	古代までの日本	中世の日本	近世の日本	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	
7 (1) (14)	時代区分について理解している	○					○	○				67.8
7 (2) (15)	時代を代表する人物を理解している	○					○	○				35.9
8 (1) (16)	奈良時代の農民の生活について理解している		○				○	○				51.0
8 (2) (17)	古代の東アジアの国々との争いについて理解している		○				○		○			20.7
8 (3) (18)	鎌倉時代の主な争いについて理解している			○			○		○			7.3
8 (4) (19)	正長の土一揆の意義について複数の資料をもとに適切な語句を入れることができる			○		○				○		14.5
9 (1) (20)	長篠の戦いについて理解している			○			○		○			52.6
9 (2) (21)	元寇後の様子について理解している			○			○	○				34.4
9 (3) (22)	各時代の外交に関するできごとを理解している	○					○	○				23.7
10 (1) (23)	太閤検地の意義について理解している			○			○		○			15.5
10 (2) (24)	刀狩の目的を説明することができる			○		○				○		63.0
10 (3) (25)	太閤検地と刀狩を兵農分離と関連付けて理解している			○		○		○				74.5

中学校第2学年 理科

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の領域	物質	9	50.9
	エネルギー	6	49.5
	生命	7	54.5
	地球	3	36.0
評価の観点	科学的な思考・表現	7	33.5
	観察・実験の技能	3	57.0
	自然事象についての知識・理解	15	55.9
問題形式	選択式	7	63.7
	短答式	10	47.5
	記述式	8	40.5

設問別集計結果

設問番号		出題の趣旨	学習指導要領の領域				問題形式			県全体正答率 (%)	
			物質 エネルギー	生命	地球	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式		短答式
1	(1)あ	(1) 被子植物と裸子植物の特徴のちがいを理解している		○			○	○	○	○	40.9
1	(1)い	(2) 被子植物が単子葉類と双子葉類に分類され、さらに双子葉類が合弁花類と離弁花類に分類されることを理解している		○			○	○	○	○	74.6
1	(1)う	(3) 合弁花類と離弁花類を分類する観点について理解している		○			○	○	○	○	48.3
1	(2)	(4) 単子葉類の茎の維管束の並び方の特徴について理解している		○			○			○	38.8
2	(1)	(5) 「重さ」と「質量」の違いを理解している	○				○	○	○	○	34.2
2	(2)	(6) メスシリンダーを使用して物質の体積を求めることができる	○				○		○	○	47.6
2	(3)	(7) グラフから物質の密度を読み取る方法を説明することができる	○				○			○	10.6
3	(1)	(8) 凸レンズによる像の名称を理解している		○			○	○	○	○	36.2
3	(2)	(9) 凸レンズによる光の屈折の特徴を理解している		○			○			○	54.6
3	(3)	(10) 凸レンズによる像のでき方の規則性を説明することができる		○			○			○	32.4
4	(1)	(11) モノコードにおける音を高くする方法を理解している		○			○	○	○	○	66.9
4	(2)	(12) オシロスコープの波形の特徴を理解している		○			○	○	○	○	60.3
4	(3)	(13) 対照実験の意義とその方法を理解している		○			○			○	46.7
5	(1)	(14) マグマの粘り気と火山の形との関係性を理解している			○		○	○	○	○	63.2
5	(2)	(15) 岩石の色と鉱物の割合の関係性を理解している			○	○				○	20.2
5	(3)	(16) 火成岩の特徴から岩石の種類を判別できる			○	○			○	○	24.5
6	(1)	(17) 炭酸水素ナトリウムを加熱する際に行う操作の意味を理解している	○				○	○	○	○	68.8
6	(2)	(18) 炭酸水素ナトリウムを加熱すると二酸化炭素が発生することと、二酸化炭素の化学式について理解している	○				○		○	○	74.1
6	(3)	(19) 実験の手順や表の情報を基に、実験の結果からわかることは何かを理解している	○				○		○	○	36.2
7	(1)	(20) 化学変化が、反応前後で原子の種類と数は変わらないがその組み合わせが変わることによって、反応前とは別の物質ができることを理解している	○				○	○	○	○	39.5
7	(2)	(21) 2種類以上の原子が組み合わさってできている物質が化合物であることを理解し、化学式を見て単体か化合物かどうかを判別することができる	○				○	○	○	○	82.9
7	(3)	(22) 原子が結びついて分子になること、化学式の前にある数字が何を表しているかについて理解し、イメージしたことをモデル図で表すことができる	○				○			○	63.9
8	(1)	(23) 植物細胞と動物細胞の特徴の違いをつくりの違いで理解している		○			○			○	56.4
8	(2)	(24) 細胞の各つくりの名称と、核が染色液に染まりやすいことについて理解している		○			○		○	○	58.2
8	(3)	(25) 同じ形や働きをもった細胞が集まって組織を、何種類かの組織が組み合わさって器官を構成していることを理解している		○			○	○	○	○	64.2

中学校第2学年 英語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
学習指導要領の領域	聞く	8	68.7
	読む	12	58.8
	書く	5	32.0
評価の観点	表現	5	32.0
	理解	17	62.3
	言語・文化	3	65.6
問題形式	選択式	15	72.0
	短答式	3	36.7
	記述式	7	32.3

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
		聞く	読む	書く	表現	理解	言語・文化	選択式	短答式	記述式	
1 (1) 1)	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる	○				○		○			94.1
1 (2) 2)	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる	○				○		○			96.6
2 (1) 3)	日常的な話題についての質問に対して、適切に応じることができる	○				○		○			73.1
2 (2) 4)	日常的な話題についての質問に対して、適切に応じることができる	○				○		○			68.4
2 (3) 5)	日常的な話題についての質問に対して、適切に応じることができる	○				○		○			64.3
3 (1) 6)	まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる	○				○		○			87.0
3 (2) 7)	まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができる	○				○				○	43.8
3 (3) 8)	聞いて把握した内容について、適切に応じることができる	○				○				○	22.0
4 (1) 9)	基本的な語や文法事項を理解して、会話の中で適切に使うことができる		○					○	○		82.6
4 (2) 10)	基本的な語や文法事項を理解して、会話の中で適切に使うことができる		○					○	○		46.7
4 (3) 11)	基本的な語や文法事項を理解して、会話の中で適切に使うことができる		○					○	○		67.5
5 (1) 12)	英語のポスターに関する質問に対して、必要な情報を読み取り、適切な対応を考えることができる		○			○		○			50.3
5 (2) 13)	英語のポスターに関する質問に対して、必要な情報を読み取り、適切な対応を考えることができる		○			○		○			70.8
5 (3) 14)	英語のポスターに関する質問に対して、必要な情報を読み取り、適切な対応を考えることができる		○			○		○			78.7
6 (1) 15)	まとまりのある英文を読み、書き手が求めているものを理解することができる		○			○		○			54.2
6 (2) 16)	まとまりのある英文を読み、書き手が伝えたい主旨を理解することができる		○			○		○			78.1
7 (1) 17)	文脈に合うように内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くことができる			○	○					○	63.8
7 (2) 18)	文脈に合うように内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くことができる			○	○					○	19.1
7 (3) 19)	文脈に合うように内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くことができる			○	○					○	22.6
8 (1) 20)	まとまりのある英文を読み、話の概要を理解することができる		○			○		○			66.9
8 (2)ア 21)	まとまりのある英文を読み、その内容に関する質問に対して適切に応じることができる		○			○				○	22.0
8 (2)イ 22)	まとまりのある英文を読み、その内容に関する質問に対して適切に応じることができる		○			○				○	35.5
8 (3) 23)	まとまりのある英文の中で代名詞が示している一文を理解し、書き写すことができる		○			○				○	52.6
8 (4) 24)	話の内容を理解し文脈に合うように内容を考えて、条件に沿った英文を書くことができる			○	○					○	28.7
8 (5) 25)	話の内容を踏まえて、社会的な話題に対する自分の考えを英語で書くことができる			○	○					○	26.0